



# NADPZ

September  
Newsletter



Inside the Issue



## PTAによるレンガ作り

エキサイティングで忙しかった8月が過ぎ、農民たちは通常の仕事に戻りました。学校の運営と発展に積極的な役割を果たしているPTAは、新しい4年生と5年生の校舎を建てるためのレンガ作りを始めました。

*Continues Page 2*

## 縫製クラス再開

2021年4月に冬のシーズンが始まると、ザンビアではコロナ感染の症例が急増し、単位人口当たりのコロナ感染者数がアフリカの中で最も多い国となりました。その結果、政府は学校を閉鎖し、国をロックダウンしました。私たちの職業訓練校も生徒たちを保護するために閉鎖する必要がありましたが、2か月後に学校を再開出来たことをお知らせします。

*Continues Page 2*

## 野菜園再開

ザンビア自然農法開発計画

(NADPZ)は、過去2年間コロナ感染により、国内および海外への移動の自由が認めていなかったため、自然農法プログラムをザンビアおよびアフリカの他の地域に拡大する機会を失いました。現在NADPZには、ザンビア各地の女性グループからプロジェクトを紹介して欲しいとの依頼が届いています。

*Continues Page 3*

## 新しい5年生の誇り

マンボウ女性農民組合 (MAWOFA) コミュニティスクールの5年生を紹介しましょう。この7人の若い才能のある生徒たちは、2015年の開校以来この学校に通っています。彼らは保育園から始め、毎年順調に進級してきました。30人の生徒からなるクラスですが、彼ら7人はカリキュラムを100%理解しているということでこの学年に進級することを許されました。

他のクラスメートは、年末までにテストを受け直して、4年生から昇格してこの7人の生徒に参加できるかどうか、彼らの学ぶ意欲が確認されます。







Continued PG 1:

MAWOFAの保護者が、地域に教育施設がないために地域学校を建設する計画があると最初に述べたとき、彼らは子供たちに質の高い教育を受ける機会を提供することに情熱を注いでいたことがわかりました。誰が子供たちに教え、学校はどのように運営されるのかと尋ねたところ、彼らは調査を行い、他のコミュニティスクールの建設を支援した経験から、ほとんどの質問に対する答えはできていました。

親たちは過去6年間、学校の建設と拡張に尽力してきました。彼らはレンガ造り、バケツで建設用の砂を川から集めること、そして井戸から建設場所に200リットルの水を運ぶことなどに積極的に関わってきました。建設ボランティアには、セメントと土を混ぜ合わせ、モルタルのバケツを建設業者に積極的に運ぶのを手伝ってくれる父親・母親たちが含まれています。

親たちがこの学校の成長に情熱を注いでいること、そして子供たちに教育を受けさせることの意味を理解していることがよく解ります。彼らの目標には、学校を高水準の小中学校に成長させることが含まれます。親たちは最近、新しい4年生と5年生の教室を建設するレンガの製造に積極的に関わっています。



Continues from page 1

カベタ職業訓練センターの女子学生はようやく学校に戻り、1年間のトレーニングコースの最後の3か月を迎えました。この間、彼らはTEVETAテクニカルトレーニングスクールのカリキュラムに従って研修を行っています。

TEVETA—技術教育・職業および起業家精神訓練機関—は、雇用機会の創出の失敗や、正規に自営業を営むスキルを提供するための財政的および制度的構造の欠如の現状を打開するために設立された政府機関です。

私たちの職業訓練センターは未だTEVETAの正式認定を受けていませんが、学生たちはチョマにある認定機関で試験を受けることができます。これにより、選択したコースのTEVETAの終了証明書を受理することができます。

この若い女性たちは、家族を支えてゆくための収入を得るべく縫製技術を習得する機会を探していました。彼女らの卒業後の話を楽しみにしております。



職業研修センターの教室から野菜畑まで、ようやく冬が終わり、封鎖措置が緩和されました。今回の作付けシーズンは、女子生徒が自然農法の野菜畑の植え付けを担当します。前は大工仕事を研修している若い男子生徒たちが庭の主な世話人でした。それで今回は女性たちの番です。

カベタ職業訓練センターでは自然農法は必須カリキュラムとしています。この非営利団体は自然農法を通して次世代の農民を育てるということを目指の一つとして掲げ、生徒たちは全員自然農法を習得する必要があります。

ザンビア自然農法開発計画（NADPZ）のプロジェクトサイトには、自然農法の野菜や作物を栽培するために使用される複数の野菜畑と農場があります。ここで生徒たちは午後も過ごし、自然農作物の栽培方法を学びます。生徒たちはトマト、タマネギ、キャベツ、ニンジン、菜の花などのさまざまな野菜をうまく育てることができました。作物が成熟すると、収穫管理、価格設定、販売、再投資、などを学びます。プログラムの次の段階は、製品をパッケージ化して品質を保ち、個人の購入者に販売することを考えています。将来的にはこのプログラムを通して、学生が他の専門業社とパートナーシップを結び、継続的な野菜提供ビジネスを構築できるようになることを目指しています。

前述のように、現在のCOVID 19パンデミックは、ザンビアの他の地域への自然農法プログラムの拡大を遅らせています。その結果、私たちのプロジェクトについて聞いたことがある他の農村地域の農民クラブ、協同組合、農民グループに自然農法モデルを紹介してほしいと求める手紙やリクエストがたくさん届いています。

イテジ・イテジ地域の2人の女性がムババラ地区の親戚を訪ねて来ており、ちょうどそのときに本年の自然農法ショーに参加しました。その後自然農法もっと学びたいと自然農法による野菜の植え付けに参加しました。現在彼女らはイテジ・イテジに帰り、彼女たちの所属する農民クラブに自然農法を紹介してほしいとの依頼が来ています。

自然農法の力について耳にした、さまざまな地域の女性グループからプロジェクトの紹介を求める多くのリクエストを見て、自然農法のような農法の重要性を理解している何千人もの農民がいることから、将来の発展が期待できます。彼らは情熱を持っており、環境にやさしい農法を通して、自分たちとその家族に未来があると感じていると思います。人々が貧困に苦しみながらも、私たちの惑星の未来とそれを救うことの重要性を気にかけていることは、私に希望を与えてくれました。

